

2025年10月10日

香港日本人学校 児童生徒保護者の皆様へ

香港日本人学校 経営理事会
理事長 鳥井 隆行

2026年度 Annual Capital Levy について

本校児童生徒保護者の皆様におかれましては、日頃より学校運営につきましてご協力・ご支援等を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年11月に皆様へ案内させて頂きました「2025年度授業料・入学金について」でも言及があった通り、Annual Capital Levy を来年度から導入予定でございます。昨年9月の経営理事会にて、本件のAnnual Capital Levy 導入に関して慎重に協議を重ね、その後も香港教育局と本件に関しても相談する機会をいただきました。その協議の中で、児童・生徒数の減少、校舎の老朽化、物価や人件費の高騰など学校をとりまく環境が厳しい上、さらに2025年度からの香港教育局による入学金制度廃止の通達により、本年度以降の財務状況はさらに厳しい状況が見込まれる旨を伝えました。そこで、来年2026年度に29年目を迎える大埔校の校舎・建造物は、大規模修繕工事のプロジェクトも複数見込まれている現状を踏まえ、香港教育局が導入しているAnnual Capital Levy の方法を本校も採用する運びとなりました。

金額に関しては、統合後に校舎を同じくするインターナショナルセクションと同額、15,960 香港ドルとしております（国際学級は、教育環境のさらなる充実と教育施設の持続的・長期的な維持・改善、他校と同じく国際標準に合わせる形で、2006年からCapital Levy を導入済）。

保護者の皆様にはご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご家庭に追加のご負担をお願いすることとなり、誠に恐縮ではございますが、本校の教育目標である「世界で活躍するグローバル人材の育成」を実現し、子どもたちがより豊かに学び成長できる環境を整えるために不可欠な施策でございます。

引き続き、本校教育へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

<Annual Capital Levy>

年額 15,960 香港ドル（小学部、グローバルクラス、中学部とも同額）

* 最終決定は香港教育局の承認によります。

なお、本件についてご意見がございましたら、2025年10月23日 香港時間 午前11時までに、下記連絡先までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

以上

<連絡先>

香港日本人学校事務局 電話：2574-5479、メール：jimukyoku@hk.js.edu.hk

1. Annual Capital Levy の概要と導入背景

香港における教育環境は日々高度化しており、質の高い学習環境の提供や最新の教育設備整備が不可欠です。同時に、学校として子どもたちの安全を第一に守ることが求められています。

従来、本校の日本語セクションにおいては皆さまから頂戴した授業料から、日々の修繕費用や大規模な改修・改善工事費用等を賄ってまいりましたが、教育施設の持続的かつ計画的、中長期的な維持・改善のための整備には、将来を見据えた資金がより一層、不可欠となりました。そのため、香港教育局（以下、EDB）の規定に基づき、学校の施設整備や教育環境の充実のために、今回「Annual Capital Levy」を導入したいと考えております。こちらは EDB の承認を得た上で、毎年 年 1 回全ての児童生徒様から徴収させて頂くお金です。

Annual Capital Levy は授業料とは別に、EDB に規定された、施設の長期的な維持管理を目的とした資金調達手段の一環です。多くの香港のインターナショナルスクールや私立学校でも同様の仕組みを導入しており、持続的な学校運営のために必要な取り組みと位置付けられております。資金の使用用途は EDB が規定する通り、主に中・大規模な施設・設備投資の財源とさせていただき予定で、明確な用途説明と定期的な報告体制により、ステークホルダーである皆さまへ説明責任を果たしていく予定です。

すでに Annual Capital Levy を導入している本校のインターナショナルセクションと同様、実際の資金の使用用途や年度で使用させて頂いた金額等の情報に関しては、学校ホームページやスグラムなどでの報告を通じて、資金運用の透明性を確保する仕組みを整備していきます。

*Annual Capital Levy は、学校運営費（人件費・教材費）には一切使用せず、**100%を施設改善および教育環境向上のために使用いたします。**また、統合後に使用する大埔校の校舎は、来年 2026 年度に設立 29 年目を迎え、大規模修繕工事のプロジェクトも複数見込まれている現状です。日本の在外教育施設として、更なる発展を目指していくために使用させて頂く予定です。

安心・安全かつ質の高い教育を提供させて頂く環境を今後も守り続けるために活用させて頂きます。そのため、より良い教育環境づくりのため、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2. Annual Capital Levy による大規模工事・修繕改良プロジェクト概要一覧（EDB へ提出済の内容）

*金額は、EDB へ提出時点での見積り金額を記載しています。

(1) 校舎天井の再構築

（5 段階計画、2025 年一部開始～2026 年完了予定、合計金額 HK\$6,600,000）

校舎内各所で天井の老朽化が進み、一部が下がってくる危険な箇所が確認されています。特に屋上に近い4階は劣化が顕著で、早急な対応が必要です。

本計画では、統合前にまず4階の天井の再構築および補強工事を行い、同時に空調設備の更新や撤去工事も実施いたします。統合前の今年度から工事に着手する予定です。

工事実施による効果・利点

- 落下物などの安全リスクを排除
- 学習に集中できる安心・静音環境

(2) 空調設備の全面更新計画

(3段階計画、2026年～2028年に段階的設置の完了予定、合計金額HK\$7,000,000)

現在、本校では1997年の開校時に設置されたセントラル空調と、後年に追加されたスプリット型エアコンの2種類を使用しております。

5段階計画のうち、2年はすでに終わっており、来年は3年目計画を再開する予定です。そのため、今後3年間で段階的に全ての旧型空調をスプリット型エアコンへ更新する計画を立てております。それと同時に、現在冷房システムに使っている排水管の交換も行います。

工事実施による効果・利点

- 快適な学習環境の確保（夏季・冬季ともに安定した室温）
- エネルギー効率の向上による環境負荷の軽減
- 空調の個別管理が可能となり、保健衛生面でも安心

(3) 校舎内床材の全面張り替え

(4段階計画、2026年開始～2030年完了予定、合計金額HK\$5,352,000)

日本語セクションの教室の床材は、1997年の開校以来、大規模改修が行われておらず、摩耗や浮き上がり各所で確認されております。特に生徒が休み時間に走り回る中で、転倒やケガのリスクが高まっています。

国際セクションでは2年前に全体改修を完了しており、今回は日本語セクションにおいても同様の全面張り替えを実施します。

工事実施による効果・利点

- 安全な校内移動環境を確保（転倒リスクの低減）
- 教室の印象が明るくなり、集中力の向上
- 日本語セクションと国際セクションの教育環境における公平性の確保

(4) 体育館ステージの床材と灯具の改修

体育館床材の改修（7段階計画、2030年完了予定、合計金額HK\$420,000）

灯具（7段階計画、合計金額HK\$200,000）

体育館内の舞台も、長年の使用により沈み込みやグラつきが見られます。学校行事・発表会・演劇などで多く使用されるため、安全性と見た目の両面から改修が必要です。

また、舞台の床材も長年の使用により老朽化が進んでおります。特に、学校行事や発表会などで頻繁に使用される場所であるため、安全性とAnnual Capital Levyの対象として計画に組み込まれております。

工事実施による効果・利点

- ・ 行事中の舞台上事故リスクを回避
- ・ 安定した舞台で安心して発表・演奏が可能
- ・ 学校行事の質向上と演出力の強化

(5) グラウンド人工芝の全面張り替え

(3段階計画、2027年開始～2028年完了予定、合計金額 HK\$1,800,000)

本校のグラウンドは2003年に整備され、22年間にわたり多くの生徒に愛用されてきました。しかし、人工芝のグリップ力低下やゴムチップの消失が進行し、転倒・ケガのリスクが増えています。

今回、最新素材の人工芝へ全面張り替えを行い、より安全で快適な運動環境を提供いたします。

工事実施による効果・利点

- ・ 運動中の安全性向上（滑りにくい素材）
- ・ 低衝撃素材により、関節や膝への負担軽減
- ・ 体育・クラブ活動の質と楽しさが向上

(6) 駐車場の全面的再整備

(3段階計画、2027年開始～2032年完了予定、合計金額 HK\$4,100,000)

本校の広大な駐車場は、1997年の開校以来、一部分は補修を重ねてまいりましたが、多くの車両・スクールバス・配送トラック等の出入りにより、タイルの破損と地盤の不安定化が進行しています。

特に、タイル下の地盤が砂や泥で不安定なため、地盤沈下や排水溝の圧迫・閉塞が発生しており、雨天時には浸水のリスクが高まっている状況です。

工事実施による効果・利点

- ・ 安全な送迎環境を確保（転倒・事故防止）
- ・ 雨天時の浸水被害の防止

(7) 外壁の大規模改修工事

(5段階計画、2027年開始～2032年完了予定、合計金額 HK\$12,600,000)

校舎外壁では、ひび割れ・塗装の剥がれ・漏水が多数確認されています。特に窓枠まわりからの浸水や塗装の剥落リスクがあり、安全面でも深刻な課題です。

工事内容

- ・ 外壁の全面塗装
- ・ 窓まわりの防水補強
- ・ 劣化部の補修・強化

工事実施による効果・利点

- ・ 落下物・漏水リスクの解消で安心・安全

(8) 屋上の全面改修（防水・断熱・排水）

(2032年以降に着工、2035年完了予定、合計金額 HK\$8,100,000)

近年、強い台風の後などに屋上からの漏水が継続的に発生しており、教室や施設の天井・壁に被害が出ています。構造そのものへの悪影響も懸念されるため、全面的な屋上改修工事を実施します。

工事内容

- 防水層の再施工
- 老朽化空調設備の撤去
- 排水管の再設計・再設置
- 断熱ボード設置による熱対策強化

工事実施による効果・利点

- 浸水による授業中断の回避
- 夏季の室温上昇を抑え、学習環境の快適化

3. Annual Capital Levy についての Q&A

(1) Q : 香港では、他の私立学校やインターナショナルスクールでも同様の費用を徴収しているのでしょうか。

➡ A : はい。多くの学校において ACL を教育局 EDB の許可のもと、徴収しています。学校経営上、EDB が認める学校の資金調達方法は現在 3 種類あり、1.Capital Levy、2.Debenture (数万～数十万香港ドルが相場)、3.Nominee Rights Debentures となっています。授業料等とは別に、学校がこれらの徴収を設定することを通じて、中長期的な学校経営の安定を実現し、学校の競争力の維持と、教育環境の充実を積極的に図られている学校が香港には多いのが実情です。

(2) Q : ACL は今後値上げされる可能性はありますか。

➡ A : 今回の申請が教育局 EDB に承認された場合は 6 年間、金額は変えませんが、6 年後の次の申請の際は、国際学級と合わせて工事に係る費用 (人件費や足場台等) や物価の動向、建物・設備の具合に応じて、改めて経営理事会での慎重な審議や、教育局 EDB に相談させて頂きながら、金額自体の妥当性は 6 年後も検討し続けます。

(3) Q : ACL を導入後、保護者、子どもにはどのようなメリットがありますか。

➡ A : 安全で快適な教育環境を維持できる他、お子様の学ぶ場所・教職員の職場が改善することで、全体として教育サービスの質の向上に繋がります。

(4) Q : ACL を導入しなかった場合、どのような影響が考えられますか。

➡ A : お子様の安全な学習環境の維持が難しくなること、また、現在の財政状況から、校舎・設備の工事・改善改修の遅延を招く恐れがあります。

(5) Q : 香港現地の他校と比べ、15,960 香港ドルは相場と比べていかがなのでしょう。高いのでしょうか。

➡ A : 今回の金額は統合後、校舎を同じくする国際学級と公平性を保つため、同額とさせて頂きました。金額自体に関して香港においては、20,000～50,000 香港ドルを毎年徴収する学校も多数ございます。ご家庭に追加のご負担をお願いすることとなり、誠に恐縮ではございますが、引き続き、本校教育へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(6) Q : ACL は、途中編入では月割りなどの対応があるのでしょうか。

➡ A : 年度始めに一括納金となります。途中編入の場合も、入学許可時に一括納金していただきます。本費用は香港教育局の規定により、返金不可・譲渡不可・換金不可です。また、そういった例は他校でも見られず、現在のところは考えていません。

(7) Q : ACL の支払いは、一括支払いのみでしょうか。

➡ A : はい、そうです。年度の初めに、授業料とともに一括にてお支払いいただきます。

(8) Q : 来年度 (2026 年度) からの工事スタートが見受けられるが、統合後で児童生徒数が多くなり、子ども達の教育活動への影響は出てくるのでしょうか。

➡ A : 夏休み等、長期休暇の期間を使って、主に工事をしていく予定です。緊急性の高い工事は児童生徒がいる期間も実施しますが、児童生徒の教育活動と安全性を最優先に考えて、影響を最小限に留める範囲で実施させて頂く予定です。